

台風 19 号における農作物技術対策情報

令和元年 10 月 10 日 (木)

相双農林事務所農業振興普及部

1 気象情報 (令和元年 10 月 10 日 気象庁発表)

- 台風第 19 号は非常に強い勢力を保ったまま、12 日から 13 日にかけて、西日本から東日本に接近し、上陸するおそれがあります。全国的に暴風や警報級の大雨、猛烈なしけとなる可能性があります。
- 東日本から西日本の太平洋側では 11 日午後から非常に強い風が吹き、11 日夜には猛烈なしけとなる所がある見込みです。
- 台風の影響で、西日本太平洋側では 12 日に、東日本と北日本では 12 日から 13 日にかけて、警報級の大雨となるおそれがあり、台風の動向によっては、東日本を中心に総雨量がかなり多くなる見込みです。
- 昨年(2018年)の台風第 21 号(上陸時の中心気圧 950hPa、最大風速 45メートル)と同程度の勢力で日本に接近するおそれがありますが、台風の位置の予想や強度の予想には幅があり、今後の台風に関する予報や気象情報に留意して下さい。

2 生育状況 (10 月 10 日 現在)

品 目	生育状況等
水 稻	現在、コシヒカリ及び飼料用米(ふくひびき)刈り取り中。 10月5日現在、刈取進捗率 20%。※平年の収穫盛期(50%)は 10/8 頃。
大 豆	・子実肥大期～葉黄化始め。
野 菜	【トマト】 ・15 段前後で摘芯。10 月末頃まで収穫予定。 【ねぎ】 ・秋冬ねぎの収穫が始まってきている。 【にら】 ・夏にらは収穫終了。冬にらは 10 月初～中旬に収穫開始。 【タマネギ】 ・ハウス内にて育苗中。 【ブロッコリー】 ・8 月初旬定植のは場では、10 月初～中旬に収穫開始。
果 樹	【日本ナシ】 ・「新高」は収穫盛期。
花 き	【ストック】 ・生育 20 c m 程度で伸長中。 【小菊】 ・親株管理中。

3 今後の技術対策

【共通】

- ・台風接近前に収穫可能なものは、できるだけ収穫しましょう。
- ・増水に備え用排水路を点検し、ゴミ等を取り除いておきましょう。
- ・ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょう。
- ・水田転換畑で滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。
- ・台風通過後は、冠水や多湿、茎葉の損傷等により病害にかかりやすくなっているため、直ちに適切な薬剤散布を行いましょう。また、草勢回復のため、液肥のかん注や葉面散布剤の散布を行いましょう。

【共通（施設）】

- ・パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検、補修しましょう。
- ・パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋かいを入れ、補強しましょう。
- ・施設では、風が吹き込まないように天窓や扉も完全に閉めておきましょう。
- ・雨よけのみのパイプハウス等は強風に弱いため、ラセン杭、ハウスバンド等で浮き上がらないようにしっかりと固定しましょう。

【作物別対策】

1 水稲

- ・冠水した場合は、少しでも早く葉先を出すよう早急に排水しましょう。

2 大豆

- ・表面水や明きよの滞水は早急にほ場外に排水しましょう。
- ・大豆で莢が損傷した場合には、カビ粒や腐敗粒になりやすいため、必要に応じて速やかに防除を行いましょう。

3 野菜

（1）事前対策

- ・露地きゅうりは、支柱やネットにしっかりと誘引しておきましょう。
- ・なすやピーマン、アスパラガスは、支柱やフラワーネットを点検し、倒伏を防止しましょう。

（2）事後対策

- ・倒伏したものは、茎が曲がるのを防ぐため、できるだけ早く引き起こすとともに、茎葉に泥土が付着している場合は、動力噴霧機などにより水をかけて洗い流し、適切な薬剤散布を行いましょう。
- ・マルチを行っている畦が冠水した場合、マルチ下の土壌水分が過多となりやすいため、マルチを一時的に取り除いて乾燥させましょう。
- ・ネット等からはずれたつるや茎葉等は、再度誘引しましょう。

4 花き

（1）事前対策

- ・露地栽培では、フラワーネットや支柱を点検し、倒伏や曲りを防止しましょう。

（2）事後対策

- ・キクなど露地の花きは、風雨により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布を行い、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょう。
- ・ほ場が冠水した場合は、速やかに排水を行うとともに、付着した泥を洗い流し、灰色かび病等

の予防薬剤散布を行いましょ。また、液肥の葉面散布や酸素供給剤のかん注により、草勢回復を図りましょ。

5 果樹

(1) 事前対策

- ・ナシ等の平棚栽培では、棚面の上下動による落果を防ぐため、支柱・アンカーの補強、ラセン杭などによる棚面の固定や棚線の締め直し等を行いましょ。

(2) 事後対策

- ・落果した果実は速やかに収集し、適正に処理しましょ。
- ・大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等でとめるか、縄などでしばり傷口を接着させましょ。

6 畜産・飼料作物

(1) 事前対策

- ・畜舎等の屋根、扉、窓、外壁及び排水溝等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行いましょ。
- ・入り口等が開放されている飼料の保管場所では、乾草や稲わら等をシートで覆うなどして、雨水がかからないようにしてください。
- ・堆肥舎への風雨の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されますので、堆肥をシートで覆うなどして、流出を防止しましょ。
- ・あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう対策を行いましょ。

(2) 事後対策

- ・畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょ。
- ・台風の通過後は高温となるおそれがありますので、家畜の暑熱対策を徹底しましょ。また、家畜の姿勢、採食量や反芻などの行動をよく観察し、異常や疾病の早期発見・早期治療に努めましょ。
- ・滞水している草地や飼料畑は、明きよなどを点検し速やかに排水しましょ。
- ・豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょ。

発行：福島県相双農林事務所農業振興普及部 TEL 0244-26-1151
農薬等の使用については収穫前の日数、散布濃度について注意して下さい。